

モナド

モナドとは

制御構造を導入するための「データに付ける付加情報」

抽象的な概念であり、応用範囲が広い
デザインパターンの一種

モナドが適用される場面

- ・ 入出力処理の実現のため
- ・ 成功か失敗か、いずれか一方の値を保持するデータ型として
- ・ 複数の値を保持するデータ型として

入出力実現のためのモナド

Haskellは純粋関数型なので副作用を含む外部入出力処理を認めない
しかし、実用的なプログラムとして機能するには入出力は必須・・・

→モナドを利用して外部入出力を実現

Haskellでは遅延評価を採用しているので、入出力処理を意図した順序で行うことに不都合を生じる。その式の実行順序の整合性をとる仕組みも、モナドが実現する。